

# 緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 71 2020年3月5日 JR東労組

## 取り巻く情勢を見定め、春闘勝利に向けて 全組合員でたたかいをくり出していきまう！

### 新型肺炎賃上げ冷や水

#### 交渉大詰め業績懸念拡大

新型コロナウイルスの感染拡大が春闘にも影響している。労使交渉は大詰めを迎えているが、各組合が予定した大規模集会は感染防止のため中止を余儀なくされている。経営の先行き懸念も強まるばかりで、賃上げで消費や投資の底上げを目指す。アベノミクスの「経済の好循環」にも冷や水となりそうだ。

2020年春闘は1日に主要企業の集中回答を迎える。自動車や電機などの労組で構成する金属労協本部（東京都中央区）などでは、朝から大勢の報道陣が詰め掛け、職員が各企業の回答結果をホワイトボードに記入する光景が春闘の「風物詩」となってきた。

#### 春闘

毎年春、賃金や労働時間の短縮など労働条件の改善を話し合う労使交渉。年齢に応じて自動的に本給が増える「定期昇給」、賃金水準全体を底上げする「ベースアップ（ベア）」、「一時金（賞与）」が賃金交渉の中心テーマ。産業別労働組合の基本方針に従い、各企業の労組が要求を取りまとめて経営側に提出し約1カ月にわたり交渉する。1950年代半ばに始まり、高度経済成長期には春闘による賃上げが消費を拡大し、経済成長を下支えしたとされる。だが、最近企業ごとに業績がばらつき同水準の賃上げが難しくなっている。2020年春闘で連合は定昇分を含めて4%程度の賃上げを要求、経団連はベアについては各社の判断に委ねる立場だ。

雇用問題に詳しい山田久・日本総研副理事長は「08年のリーマンショックの後、ドイツやスウェーデンは賃上げの勢いを維持して個人消費の落ち込みを防いだが、日本は賃金を大幅カットしてデフレ

### 20春闘

「経済の好循環の流れを堅持しなければならぬ。賃上げをもっと広げていく取り組みが極めて重要だ。連合の神津里季生会長は

3日、東京都内の連合本部から動画中継でこの訴えだ。例年は約1000人を集めて決起集会を開催していたが、今年は新型肺炎の感染拡大をうけて中止を決定。代替措置として連合本部の会議室にテレビカメラを設置した「デジタル集会」として開催し、約20分わたって賃上げの重要性をネット配信で訴えた。

感染拡大による業績への懸念も、賃上げ交渉に暗い影を落としていた。イベント自粛などで個人消費が落ち込むの予想もあり、幅広い業種で業績悪化の懸念が急速に拡大。経営側は賃上げに慎重な姿勢を一段と強めているという。電機メーカーの労組で構成する電機連合の野中孝泰中央執行委員長は2日の記者会見で、「労使双方の隔たりは大きく、賃金水準をめぐる議論が

できていない」と危機感を示した。日本商工会議所の三村明夫会頭も同日の記者会見で、新型肺炎の感染拡大を踏まえ「企業業績の先行きは不安定で、今回の賃金交渉は非常に厳しいものになる」との考えを示した。

「執行役員は次のトップの候補生であると考えている。経営層の成の仕組みだと捉えていた方がいい」と狙いを説明した。一方、賃金を巡り、河合編副社長が「ベアをこれ以上、引き上げることは競争力を失ってしまう」ともつながらいかならないと言及

組合名	期別	賃金	労働時間	その他
自動車労協連	307.5%			
日産	315.0%			
本田技研	299.1%			
マツダ	310.0%			
三菱自動車	310.0%			
スズキ	310.0%			
ダイハツ	310.0%			

#### 新型肺炎の感染拡大の影響が各業界に広がっている

- 製造**
  - 日産自動車とホンダが中国・湖北省の工場に1カ月以上生産を停止
  - 中国からの部材の供給停滞でTOYOTAの国内向け商品の納期に遅れ
- 運輸**
  - JR東日本の3月の新幹線指定席券の予約が前年比5割減
  - 全日本空輸と日本航空が中国路線に加え国内線も減便
- 観光**
  - エイチ・アイ・エス（HIS）が2020年10月期に創業以来初の最終赤字転落を予想
  - 37道府県の約400の宿泊施設で3～5月の予約が前年同期比4割減
- 小売り**
  - 大手百貨店3社の2月の売上高が前年同月比1～2割減
  - スーパー大手のライフ、家電大手のビックカメラなどが営業時間を一部短縮
- 外食**
  - 牛丼大手の吉野家が従業員の人手確保で一部メニューの提供を取りやめ
  - 帝国ホテル大阪など大手ホテルがビュッフェの提供を休止

自動事業が100年に一度の変革期を迎える中、人件費上昇につながる「ベア」は慎重な姿勢を示した。労使協議会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、労使ともに出席人数を絞った。

田口雅士

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、春闘集会など中止の判断をせざるを得ない状況になっています。そのような中で、職場議論や激励行動など、創意工夫した取り組みをつくり出していきましょう！

20春闘を職場の仲間と共にたたかおう！